

青森県におけるレベル分類（指標・数値・運用）の見直し

【背景・経緯】

- ・令和3年11月19日開催の国・新型コロナウイルス感染症対策分科会において、「新たなレベル分類の考え方」が示され、政府・基本的対処方針が変更された。
- ・これを踏まえて、本県では、令和3年12月2日開催の第7回専門家会議で協議し、翌3日第57回危機対策本部会議において、「新たなレベル運用」を設定したところである。**すなわち、このレベルは、新型コロナウイルスのデルタ株までの知見を踏まえたものであった。**
- ・その後、オミクロン株の感染拡大を踏まえ、令和4年1月18日開催の第9回専門家会議で協議し、翌19日に一部運用の見直しを行った。なお、この時点でも**オミクロン株の特徴が全国的に不明であったことから、指標・数値は変更せず、運用の一部変更のみを行った。**
- ・その後、オミクロン株の特徴（感染・伝播性やその倍加速度が高い一方、重症化率は低い、高齢者では重症化する例がある等）について知見が集積されたことなどを踏まえて、国では「まん延防止等重点措置終了の考え方」を3月11日等で示した。
⇒こういった、背景・経緯を踏まえて、オミクロン株の特徴等も踏まえて、本県におけるレベル分類（指標・数値・運用）を見直すこととする。

【見直しの内容】

基本的な考え方

- ・オミクロン株の特徴等を踏まえ、**医療提供体制への影響を総合的に評価・判断することとし**、レベル分類（指標・数値・運用）の見直しを行う。

指標の見直し

- ・オミクロン株の特徴や国の「まん延防止等重点措置終了の考え方」を踏まえて、従前の指標に以下を追加等する。
 - ・「1週間あたりの新規陽性者数の前週比」
 - ・「1週間あたりの新規陽性者に占める70代以上の者の割合」
 - ・「病床使用率（重症）」
 - ・「自宅療養者数と療養等調整中の者の合計」

数値の見直し

- ・オミクロン株の特徴や、これまでの青森県における対応状況等を考慮して、各指標の数値を見直す。

運用の見直し

- ・指標項目を追加したこと等を踏まえて、医療提供体制への影響を総合的に評価・判断することとする。

新たなレベル分類の運用について

現 行
(～R4.4.5)

1. 新たなレベル分類の設定

- 原則として、毎週水曜日の指標を踏まえ、木曜日にレベルの分類を行う
- 原則として、高いレベルへの移行は、高いレベルの指標のいずれかが該当した場合
- 低いレベルへの移行は、低いレベルの指標が全て該当した場合
- レベル 0 は、全ての指標を維持している場合
- オミクロン株等の変異株の感染状況を踏まえ、レベル 3、4 への移行は、保健・医療提供体制のひっ迫状況や感染状況等を考慮し、総合的に判断する。

区 分		レベル 0 感染者ゼロレベル	レベル 1 安定的に医療等の 対応ができるレベル	レベル 2 警戒を強化すべきレベル	レベル 3 対策を強化すべき レベル	レベル 4 避けたいレベル
レベル 移行の 指標	1 週間あたりの 新規陽性者数	～20人	21人～70人	71人～700人	701人～	—
	療養者数	—	—	101人～1000人	1001人～	—
	病床使用率	—	—	—	50%～70%	70%超
	(入院者数※)	～10人	11人～40人	41人～201人	202人～282人	283人～
	知事の判断	—	—	—	知事が必要と 認めた時	知事が必要と 認めた時

※ 入院者数は、確保病床の目標405床であった場合の人数のイメージ

新たなレベル分類の運用について（案）（R4.4.6～）

**見直し案
(R4.4.6～)**

1. 新たなレベル分類の設定

- 原則として、毎週水曜日の指標を踏まえ、木曜日にレベルの分類を行う
- 高いレベルへの移行、低いレベルへの移行は、それぞれの指標を踏まえ総合的に判断する。

区 分		レベル 0 感染者ゼロレベル	レベル 1 安定的に医療等の 対応ができるレベル	レベル 2 警戒を強化すべきレベル	レベル 3 対策を強化すべきレベル	レベル 4 避けたいレベル
レベル 移行の 指標	1 週間あたりの 新規陽性者数	～100人	101人～1000人	1001人～5000人	5001人～	—
	1 週間あたりの 新規陽性者数の 前週比※ 1	—	レベル0 からレベ ル 1 への移行は前 週比を上回る	レベル 1 からレベル 2 への 移行は 2 週間連続で前週比を 上回る	レベル 2 からレベル 3 への 移行は 4 週間連続で前週比を 上回る	—
	1 週間あたりの 新規陽性者に占 める70代以上 の者の割合	—	—	—	25%～40%	40%超
	療養者数 ※ 2	—	—	1501人～7500人	7501人～	—
	病床使用率 (全体)	—	—	—	50%～70%	70%超
	病床使用率 (重症)	—	—	—	50%～70%	70%超
	自宅療養者数と 療養等調整中の 者の合計※ 1	—	—	レベル 1 からレベル 2 への 移行は、前週比で上昇傾向	レベル 2 からレベル 3 への 移行は、前週比で上昇傾向	—

※ 1 前週比については、必ずしも上記の例によらない場合などがあるため、感染拡大状況がどのレベルに近いかを総合的に評価する

※ 2 療養者数とは、入院者数、宿泊療養者数、自宅療養者数、療養等調整者数の合計